

北陸信越学生会の活動  
(北陸信越学生会)

北陸信越学生会は新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県の10大学6工業高等専門学校により運営されている。

1. 第45回全国学生研修会への参加

2007年8月16日から18日までの3日間、第45回全国学生研修会が青森県で開催された。この研修会は全国の学生会支部の学生代表と学生会担当幹事の教員が一堂に会し、意見交換、情報交換、親睦を深める場として企画されている。今回の研修会は東北学生会により企画された。この研修会に北陸信越学生会の学生代表(委員長)である川崎恭平君(福井工業高等専門学校)とともに参加した。

全国学生研修会の日程は以下のようのものであった。1日目：青森県八戸駅に集合後、午後から青森県立三沢航空科学館の見学、宿泊地の青森原燃テクノロジーセンターにおいて全員参加の学生員委員会の開催。2日目：六ヶ所村にある日本原燃(株)の見学(図1)、十和田湖・奥入瀬渓谷の散策、宿泊地の国民宿舎十和田湖温泉において委員長会の開催。3日目：ねぶたの里の見学、解散。

1日目の学生員委員会においては学生会を魅力あるものにし、学生員の増員につなげるためにはいかにしたらよいか、また、全国学生研修会の今後の在り方などについての活発な討論が行われた。2日目の日本原燃(株)においては、六ヶ所原燃PRセンター、

表1 北陸信越学生会 2007年度「メカライフの世界」展

学校名	開催日	テーマ名
富山大学	2007.9.19	ソーラークッカーで温泉卵を作ろう
福井工業高等専門学校	2007.10.12～14	メカカップ'07
長野工業高等専門学校	2007.10.20・21	ロボットを体験しよう
石川工業高等専門学校	2007.10.27・28	ロボットで遊ぼう～探検!ものづくりの世界～
新潟大学	2007.11.10	機械システム工学の先端を体験しよう!

ウラン濃縮工場、高・低レベルの放射性廃棄物貯蔵管理センター、再処理工場などの施設を見学した。原子力施設の実態を見学できたことは以前に見学した福井県の原子力発電所の施設などとの比較もでき、有意義なものであった。

各支部の学生会においては今回の全国研修会で得られた意見・情報を今後の学生会活動に生かされることが望まれている。第45回全国学生研修会のお世話をされた八戸工業大学の先生と学生に深謝する。

2. 「メカライフの世界」展の開催

北陸信越学生会の2007年度「メカライフの世界」展は表1に示す5校において実施された。「メカライフの世界」展は実験や展示を通じて子どもに機械や機械工学についてわかりやすく教えることによって機械や機械工学に興味を持たせ、将来の機械工学を担う人材の育成につなげることを大きな目標としている。各校とも興味深いテーマを取り上げ、さまざまな趣向を凝らしてわかりやすい実験や展示を心がけていた。この企画には多数の子どもが参加・見学し、機械工学のおもしろさの一端に触れていた。

3. 学生員卒業研究発表講演会の実施

北陸信越学生会の第37回学生員卒業研究発表講演会が2008年3月7日に福井工業大学において開催された(図2)。発表件数は128件であった。卒業研究として1年間取り組んできた研究成果を学生が熱心に発表し、その発表に対して活発な討論が行われていた。優秀な講演発表を行った学生には北陸信越支部から優秀講演賞(10件)が贈られた。学生員卒業研究発表講演会の講演発表者は(社)日本機械学会の学生員であることが条件とされている。今後も学生員卒業研究発表講演会により多くの学生が参加し、学生員が増えることを期待したい。

4. その他

年間を通して学生会活動に貢献した学生員には北陸信越支部から学生賞が贈られている。2007年度の学生賞は福井工業高等専門学校(1グループ2名)と石川工業高等専門学校(1グループ5名)に贈られた。

[福井工業大学 工学部機械工学科 教授 小沢康美]



図1 日本原燃見学  
[写真提供：八戸工業大学 野田英彦教授]



図2 北陸信越学生会第37回学生員卒業研究発表講演会(会場：福井工業大学)